

平成30年度 学校法人 山添学園 学校評価  
 幼保連携型認定こども園 御幸幼稚園・さくらんぼ保育園

自己評価

1. 本年度の教育目標

- (1) 豊かな人間性の基礎作りをする。
- (2) 表現力のある個性豊かな思いやりの心を育てる。
- (3) 物事に敏感に反応し、節度ある態度や姿勢を育てる。
- (4) 意欲を高め自己発揮できるようにする。
- (5) 未来社会を生きるひろい国際感覚を養う。
- (6) 家庭との連携のもと保育・教育を進める。
- (7) かがくする心を育てる。

一本園で目指す子ども像

- (1) 健康で明るく、姿勢の良い節度ある子ども
- (2) よく考え、進んで物事をやりとげる意欲のある子ども
- (3) 自主自立の精神に富み、思いやりのある子ども
- (4) 素直でのびのびして創造性や情操豊かな子ども

2. 平成30年度 重点に取り組む目標・計画

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の改善</li> <li>○教員の資質向上</li> <li>○子育て支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育環境の整備</li> <li>○保護者・地域住民との連携</li> <li>○安全・健康管理</li> </ul> |
|--|---|

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組みの状況
教育課程の改善	<p>「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」を踏まえ、発達の連続性と生活の連続性を考え、年間計画、週案、日案を作成し、本園の教育目標に沿って日々の教育・保育活動の充実を図っている。</p> <p>園児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて、内容の見直し、充実を図っている。</p>

<p>教育環境面の整備</p>	<p>子どもの主体的な活動に即し、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるように環境を構成し、子どもの発達に必要な体験が得られるようにしている。自園方式により、給食委託業者との打ち合わせを定期的に行いより良い食育環境の改善に努めている。</p> <p>保育室、園舎の改修、遊具の充実と工夫に努め、運動会の備品、音楽発表会の楽器等の充実を図ってきた。</p> <p>昨年に引き続き教育環境スケール(ECERS)を研究し、園児ひとりひとりが周囲の様々な環境に働きかけ、興味や関心を持って関われるような環境づくりに努めている。</p>
<p>教員の資質向上</p>	<p>園児の心身の発達、状況、行事、保育活動等を共有し、把握するために、日々の終礼、リーダー会魏、クラス会議、職員会議を行っている。</p> <p>大学の講師を招聘した園内研修、海外研修を含む園外研修にも積極的に参加、発表等も行ってきた。各自研修報告を作成し、教職員間で共有する場を持ってきた。昨年と同様、1年を通して私立幼稚園連盟の研修プロジェクトに参加した職員による研修会を行い、職員全体の知見を深めることができた。</p> <p>教育実習生を含め研究保育を実施する等、一人ひとりの資質の向上を図ってきた。</p>
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>「開かれた園」をめざして、ホームページ、園だより、クラスだより、保育参観、保護者懇談会、意見箱の設置等を通して保護者との相互理解を深めている。</p> <p>近隣の小学校との交流、中学校・高校の職業体験の受け入れ、高校合同避難訓練、老人ホームへの慰問、地域の催し物への参加、守口スイミングクラブとの連携等に務めている。</p>
<p>子育て支援</p>	<p>預かり保育の延長として、早朝、土曜日、長期休業中の拡大に取り組んでいる。通園バスの運用に関しても、保護者のニーズに合わせて柔軟に対応している。</p> <p>園児の送迎時の対応、相談や助言、連絡や「おたより」、個人懇談会・クラス懇談会、説明会等様々な機会を活用して保護者に対する子育て支援を行っている。</p> <p>未就園児対象に、園庭開放の充実、夏祭り・スイカ割り・運動会・音楽会・にっこりキッズ・おもちつき等の行事への招待を行った。多くの保護者、子どもの参加もあり、喜ばれている。</p> <p>月1回大学教授を招いて「ママ友クラブ」を行い、子育てに関する教育相談等を行っている。今後も、子供の成長に気付き、子育ての喜びが感じられるように子育て支援に努めていきたい。</p>

<b>安全・健康</b>	<p>年間平均計画に沿って、健康診断、毎月の身長・体重測定、健康指導等を行っている。</p> <p>食育については野菜の栽培収穫体験をクッキングにつなげ、絵本やパネルシアターを通して食に対する興味・関心を高める取り組みを行ってきた。</p> <p>施設・用具の安全点検に絶えず目を配り、交通安全指導、地震・火災・津波などに備えた定期的に避難訓練を行っている。特に津波については隣接校である芦間高校との合同避難訓練を実施している。</p> <p>アレルギー研修を行い、日々の給食においてもアレルギーに十分配慮しながら行っている。</p>
--------------	---

#### 4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な結果

<p>園児数の減少、保護者のニーズの多様化に伴う、魅力のあるこども園の在り方は大きな課題であったが、総合的な自己評価、学校関係者評価を行うことにより、各項目の成果と課題を明らかにすることができ、総合的な計画を立て一步一步進めることができた。</p> <p>施設設備の充実と共に、預かり保育の延長、未就園児対象とした園庭開放を始め、様々な行事への参加、説明会及び「ママ友クラブ」、教育相談等を行ったことも、今年度の新入園児の確保につながったと考えられる。</p> <p>今後、さらに保護者、未就園児に興味や関心を持ってもらえるような園庭開放の在り方、教育相談の充実を図っていききたい。分かりやすい説明会、園だより、ホームページの充実を目指していききたい。「教育環境面の整備」「教員の資質向上」等についても、さらに改善充実を図り、向上に努めたい。</p>
---

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み
<b>教育環境面の整備</b>	<p>園児にとって楽しく、過ごしやすい園舎に改善したいという思いで、保育園のロフトの設置、園庭に2階から行き来できるウッドテラスの設置等をし、園児の自発的な活動の場を広げてきた。</p> <p>各クラスの保育室においても、さらに遊具等の充実を図り、遊びコーナーを工夫し、子どもたちが興味や関心を持って関わり、考えたり、試したりできる環境を創造していききたい。認定こども園として、0歳児から小学校就学前までの一貫した保育及び教育を実現するため、更に設備の充実を図っていききたい。</p> <p>昨年度は、園外での活動として、動物園、みかん狩り、芋ほり、プラネタリウムの見学、ニフレル、レゴランド、スカイパーク、キッズプラザ、鶴見緑地、深北公園等を訪問したが、今後も園外保育の充実に努め、自然・社会・生活体験の向上を図っていききたい。</p>

<p>教員の資質向上</p>	<p>教育課程においては、「幼児期終わりまでに育てほしい姿 10 項目」を踏まえ全体的な計画を作成するとともに、その実施状況を評価・改善し、園全体の教育及び保育の質的向上を図っていききたい。</p> <p>創造的な思考や主体的な生活態度の培い、小学校教育への円滑な接続に向けてアプローチカルキュラムの改善を図る。</p> <p>ECERS (教育環境スケール) を元に乳幼児の 1 人ひとりの生活環境や生活リズム、興味や関心の連続性を考慮し、自然の流れの中に組み込まれるような教育・保育活動をめざしていききたい。</p> <p>引き続き園外 (海外含) の研修会にも積極的に参加すると共に、園内の研修においても大学の講師を招聘し研究教育・保育の充実に努めたい。</p>
----------------	--

※財務状況

<p>公認会計士により、適正に運営されていると認められている。</p>
-------------------------------------

# 監事監査報告書

令和元年5月24日

学校法人 山 添 学 園  
理 事 会 御中  
評 議 会 御中

学校法人 山 添 学 園

監 事 服部 浩之

監 事 尾上 由美

私たちは、私立学校法第37第3項及び学校法人山添学園寄付行為第16条の規定に基づき学校法人山添学園の平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日）業務並びに財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席し、理事からの業務の報告を傾聴し、重要な決算書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人山添学園の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は無いものと認める。

以上

# 平成30年度計算書類(山添学園)

## 資金収支計算書

(収入の部) 単位:円

科 目	決 算
学生生徒等納付金収入	10,488,800
手数料収入	210,000
寄付金収入	233,000
補助金収入	452,062,609
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	39,061,706
受取利息・配当金収入	32,867
雑収入	5,168,783
借入金等収入	0
前受金収入	3,110,000
その他の収入	111,601,684
資金収入調整勘定△	18,901,181
前年度繰越支払資金	161,600,797
収入の部合計	764,669,065

(支出の部) 単位:円

科 目	決 算
人件費支出	291,890,485
教育研究経費支出	28,217,831
管理経費支出	113,648,615
借入金等利息支出	622,710
借入金等返済支出	3,330,000
施設関係支出	103,222,405
設備関係支出	22,408,394
資産運用支出	0
その他の支出	46,303,944
[予備費]	0
資金支出調整勘定△	23,767,960
翌年度繰越支払資金	178,792,641
支出の部合計	764,669,065

## 事業活動収支計算書

単位:円

		科 目	決 算		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	10,488,800		
		手数料	210,000		
		寄付金	233,000		
		経常費等補助金	449,279,609		
		付随事業収入	39,061,706		
		雑収入	5,168,783		
		教育活動収入計	504,441,898		
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	291,890,485
				教育研究経費	41,152,255
				管理経費	119,611,733
徴収不能額等	0				
教育活動支出計	452,654,473				
教育活動収支差額	51,787,425				
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	受取利息・配当金	32,867		
		その他の教育活動外収入	0		
		教育活動外収入計	32,867		
		教育活動外支出の部	事業活動支出の部	借入金等利息	622,710
				その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	622,710				
教育活動外収支差額	-589,843				
経常収支差額	51,197,582				
特別収入の部	事業活動収入の部	資産売却差額	0		
		その他の特別収入	2,783,190		
		特別収入計	2,783,190		
		特別支出の部	事業活動支出の部	資産処分差額	16,841
				その他の特別支出	8,094,000
特別支出計	8,110,841				
特別収支差額	-5,327,651				
[予備費]	0				
基本金組入前当年度収支差額	45,869,931				
基本金組入額合計△	131,095,730				
当年度収支差額	-85,225,799				
前年度繰越収支差額	93,969,451				
基本金取崩額	0				
翌年度繰越収支差額	8,743,652				

## 貸借対照表

(資産の部) 単位:円

科 目	
固定資産	562,673,886
流動資産	195,336,973
資産の部合計	758,010,859

(負債の部) 単位:円

科 目	
固定負債	54,939,600
流動負債	31,090,209
負債の部合計	86,029,809

(純資産の部) 単位:円

科 目	
基本金	663,237,398
繰越収支差額	8,743,652
純資産の部合計	671,981,050

## 財産目録

単位:円

1. 資産総額	758,010,859
Ⅰ 固定資産	562,673,886
Ⅱ 流動資産	195,336,973
2. 負債総額	86,029,809
Ⅰ 固定負債	54,939,600
Ⅱ 流動負債	31,090,209
3. 純資産	671,981,050

(参考)

事業活動収入計	507,257,955
事業活動支出計	461,388,024